

≪JEITA 在米部品懇談会≫

景況動向に関するアンケート調査 集計結果

調査対象 16 社 回答 7 社 (回答率 43.75%)

調査時期 2023 年 8-10 月 JEITA 事務局 集計

1. 2023 年度 (2023 年 4 月～2024 年 3 月) の経済動向見通し

(1) 総体として米国の景気をどのように見えていますか? (回答 7 社)

好況が続き見通しが良い	0 社	(0.0%)
上昇傾向にあり、これまでよりも見通しが良い	0 社	(0.0%)
横ばいの状態が続く	2 社	(28.6%)
下降傾向にあり、これまでよりも見通しは悪い	4 社	(57.1%)
下降が続き見通しは悪い	1 社	(14.3%)
その他	0 社	(0.0%)

(2) 2023 年度の期中平均レートをいくらかと想定していますか?

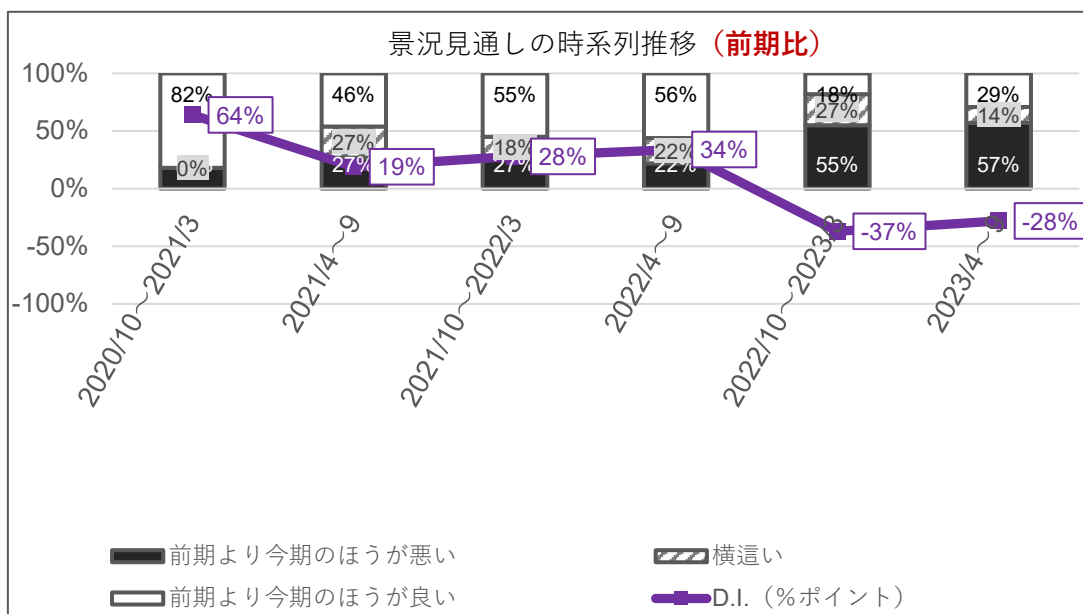
1 ドル	136.0 円 ≪回答 7 社/体操平均≫	* 2023 年 2 月調査時 129.7 円
1 元	19.3 円 ≪回答 4 社/体操平均≫	* 2023 年 2 月調査時 18.4 円

2. 2023年度上期（2023年4月～2023年9月）の見通しについて

(1) 貴社の見通しについて <<回答7社>> *カッコ内は2023年2月調査時の回答

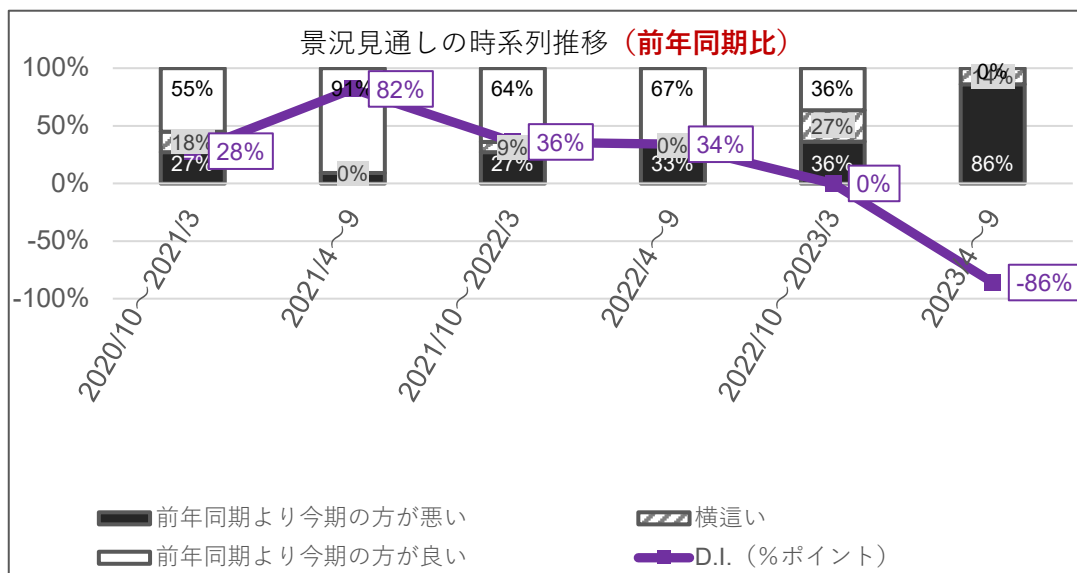
① 前期（22年10月 - 23年3月）と今期（23年4月 - 23年9月）の比較について

前期より今期の方が良い見込み	2社	(2社)
前期と比べて変動はほとんどない見込み	1社	(3社)
前期より今期の方が悪い見込み	4社	(6社)



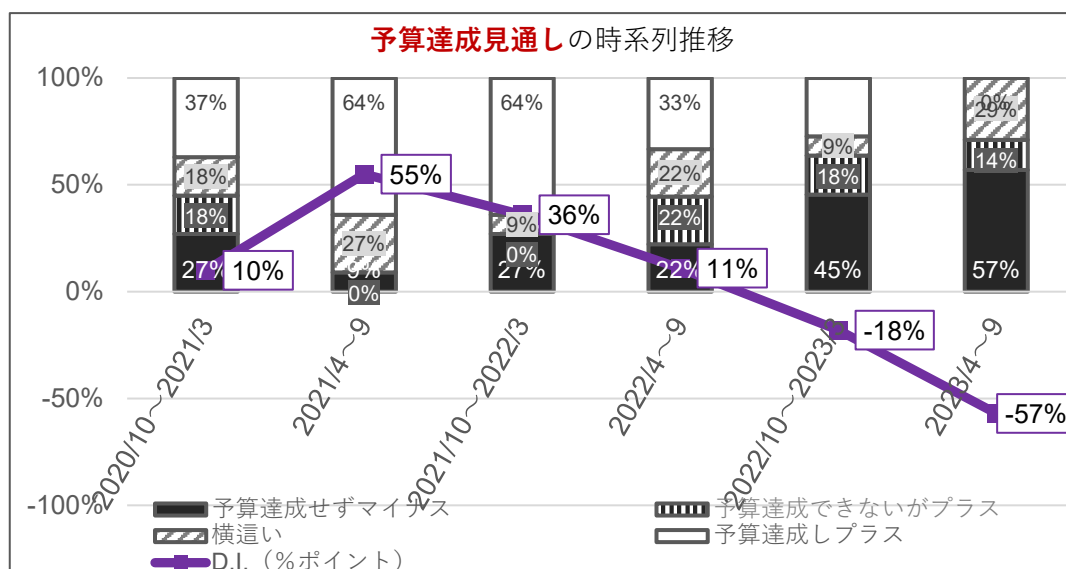
② 前年同期（22年4月-22年9月）と今期（23年4月-23年9月）の比較について

前年同期より今期の方が良い見込み	0社	(4社)
前年同期と比べて変動はほとんどない見込み	1社	(3社)
前年同期より今期の方が悪い見込み	6社	(4社)



③ 予算に対する見込み

予算を達成しプラスの見込み	0社	(3社)
予算に対し横這いの見込み	2社	(1社)
予算を達成できないもののプラスの見込み	1社	(2社)
予算を達成出来ずマイナスの見込み	4社	(5社)



(2) 下記カテゴリーのうち、**上期（2023年4月 - 2023年9月）**において、見通しの良い順に番号をつけて下さい。

《回答4社／単純平均》

カテゴリー	順位の 平均値	前回調査時 (2023/2)	回答社数	1位 の社数
通信（携帯電話等）	---	4.2	---	---
通信関係のデザイン・イン	---	---	---	---
情報（PC等）	2.7	3.2	3	0
情報関係のデザイン・イン	---	---	---	---
ディストリビューター向け	3.7	4.3	3	0
自動車電装	---	5.0	---	---
自動車電装のデザイン・イン	1.0	1.4	3	3
民生（TV、オーディオ等）	---	2.0	---	---
民生関係のデザイン・イン	---	2.5	---	---
その他	---	7.3	---	---

3. 各期間における貴社の実績及び見通しについて（対前年同期比でご回答ください）

《回答5社／体操平均》

カテゴリー	2023年度 上期実績 23/4月-23/9月	2023年度 下期見込み 23/10月-24/3月	2023年度 全体見込み 23/4月-24/3月
① 貴社（米国法人）全体	83.3%	94.3%	88.3%
② 民生（TV、オーディオ等）	---%	---%	---%
③ 民生関係のデザイン・イン	---%	---%	---%
④ 情報（PC等）	82.0%	94.0%	88.0%
⑤ 情報関係のデザイン・イン	---%	---%	---%
⑥ 通信（携帯電話等）	---%	---%	---%
⑦ 通信関係のデザイン・イン	---%	---%	---%
⑧ 自動車電装	100.0%	106.0%	105.0%
⑨ 自動車電装関係のデザイン・イン	---%	---%	---%
⑩ ディストリビューター向け	---%	---%	---%
⑪ その他	---%	---%	---%

4. 直間比率について

(1) 米国企業の生産拠点が海外へ移転することに伴い、業界として規模の縮小化という問題に直面されているものと認識しております。

貴社のビジネスを ①製品輸入と販売による利益の確保（直接売上げ） と、②デザイン・インに対するコミッション、開発経費などの利益確保（間接売上） に分けた場合、2023 年度（2023 年 4 月-2024 年 3 月）の全売上げに占める ①直接売上げの比率 は、おおよそ何% となる見通しですか？

57.0%	≪回答 7 社／体操平均≫	*2023 年 2 月調査時	63.3%
-------	---------------	----------------	-------

(2) この直接売上げの比率は、どう推移してきましたか？

≪回答 7 社≫ *カッコ内は 2023 年 2 月調査時の回答

上昇してきた	2 社	(2 社)
ほとんど変化はない	3 社	(5 社)
低下してきた	1 社	(2 社)
上下変動していて一概には言えない	1 社	(2 社)

(3) 今後、この直接売上げの比率は、どう推移すると思われますか？

≪回答 7 社≫ *カッコ内は 2023 年 2 月調査時の回答

上昇する	0 社	(0 社)
ほとんど変化はない	4 社	(6 社)
低下する	0 社	(3 社)
上下変動するので一概には言えない	3 社	(2 社)

5. 新製品・注目市場への対応について

貴社の新製品・注目市場への参入状況について、**2023年度の見通し**をご回答ください。

カテゴリー	'23年度見通し (対前年比)	回答社数
① 4K テレビ関連（周辺機器含む）市場	---%	---
② ハイブリッド自動車（HEV）、電気自動車（EV）市場	122.0%	4
③ ウェアラブル関連市場	77.0%	5
④ 3D プリンター関連市場	---%	---
⑤ 医療・健康関連市場	100.0%	5
⑥ 再生可能エネルギー（風力・太陽光発電）市場	---%	---
⑦ スマート・グリッド（再生可能エネルギーを除く）市場	---%	---
⑧ FA 関連市場	99.5%	4
⑨ ロボット関連市場	98.8%	4

6. 事業規模の変動について

(1) 北米に**製造拠点**を持つ企業に伺います。《対前年比／単純平均》

2023年度 北米の全従業員数の増減見込み	最低回答者数を満たさず割愛
2023年度 日本人出向者数の増減見込み	最低回答者数を満たさず割愛

(2) 北米に**営業拠点**のみ持つ企業に伺います。《対前年比／単純平均》

2023年度 北米の全従業員数の増減見込み	101.4%（回答7社）
2023年度 日本人出向者数の増減見込み	+0.3人（回答7社）

7. 雇用・福利厚生について

雇用・福利厚生について取り組んでいる、又は今後特に力を入れていきたいことがあればご回答ください。

- ・ Hybrid (リモートワーク+リアル出社)勤務制度、フレックス勤務制度
- ・ 401(k)制度の見直し済み
- ・ 費用対効果を見ながら、随時各種ベネフィット・プランの見直しを実施予定
- ・ 医療保険 (健康維持) の内容
- ・ インターンシップ制度の拡充

8. 対中輸出管理規制の強化など経済安全保障政策の影響について

回答は任意であり強制するものではありません。また、独禁法遵守の観点から、個社の具体的な対策については、本アンケートおよび議論の対象には致しません。

* 新規項目のため前回との比較不能

(1) 貴社のビジネスにおいて対中国関税の影響はありますか? <<回答 5 社>>

多大な影響を受けている	0 社 (-社)
一定の影響を受けている	3 社 (-社)
若干の影響を受けている	0 社 (-社)
影響を受けていない	2 社 (社)

(2) 上記の質問に「影響を受けている」と回答した企業に伺います。影響を受けている規制や懸念点には何がありますか? <<回答 3 社>>

- ・ 中国産品に対する関税
- ・ 以前と比べ生産戦略 (中国以外の生産拠点到に拡充等) についての問い合わせが増加
- ・ 中国の台湾進攻によるサプライチェーンの寸断

9. 世界的なクリーンエネルギー推進、脱炭素の取り組みに関する貴社 (米国で) の対

応について

回答は任意であり強制するものではありません。また、独禁法遵守の観点から、個社の具体的な対策については、本アンケートの対象には含めません。 <<回答 5 社>>

積極的に対応を進めている	0 社
--------------	-----

ある程度の対応を進めている	2社
今後、対応が必要だと認識している	1社
対応の必要性について確認している	2社

10. 重要鉱物サプライチェーンの強靱化・安定化について

回答は任意であり強制するものではありません。また、独禁法遵守の観点から、個社の具体的な対策については、本アンケートおよび議論の対象には致しません。

(1) ウイグル強制労働防止法、インフレ抑制法などによる中国からの原材料調達の影響はどの程度でしょうか? <<回答 11社>>

多大な影響を受けている	0社
一定の影響を受けている	1社
若干の影響を受けている	1社
影響を受けていない	3社

(2) その他の地域からの原材料調達で支障が出ていることがあれば、ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> 重要鉱物の原材料は調達していない
--

11. 今後の懸念材料

米国でビジネスを展開する上で、気になること、懸念されること、または、今後の在米部品懇談会で取り上げるべき課題があればお知らせください。

<p>(1)経済</p> <ul style="list-style-type: none"> 米中関係、中国関税関係 2024年大統領選挙と経済政策 ドル高 リセッション 物流費の増加はいつまで続くのか インフレに伴う賃金上昇 CHIPS法, 対中国制裁関税 日本と米国の購買力平価の見方 (日本人出向者の処遇に関連して) <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国製造拠点の必要性 生産拠点の中国以外への移転
--

- ・ 従業員応募をしても応募者がいない、極端に少ない、適正な応募がない
- ・ アメリカ独自の販売形態である Rep へのコミッションを各社どのように扱っているのか知りたい

アンケート結果は在米部品懇談会メンバーにご報告するとともに JEITA 会員サイト（<https://www.jeita.or.jp/japanese/>）で後日公開されます。